

ず～じゃん。動物園大学 4 in 横浜

午前の部 9:45～12:10 (開場・受付 9:15)

主会場：ころこロッジ

7つの動物園の飼育員によるレクチャー

普段は聞けない動物や動物園のことお話しします。

- ▶ ゾウさん一家の引っ越し大作戦
～限りなく遠い 22メートル～
辻 信義 (名古屋市東山動物園)
- ▶ 脱サル山!!!
～ニホンザルのふるさと相良村の奥山と里山へ～
松本 充史 (熊本市動植物園)
- ▶ これがホントのハイエナ根性
～ブチハイエナ 母子が母子であるために～
木村 夏子 (高知県立のいち動物公園)

- ▶ 毎日休まずコロコロ!
～ペンギンの抱卵をのぞいてみました～
佐々木 智子 (京都市動物園)
- ▶ 最近、夫婦で巣穴にいるけど、どうしたの?
～密着 100 日! ペンギンの子育て～
有馬 一 (横浜市立よこはま動物園)
- ▶ 愛しのダチョウ成長記録
櫻堂 由希子 (横浜市立野毛山動物園)
- ▶ インドサイの赤ちゃんが生まれたよ
先崎 優 (横浜市立金沢動物園)

午後の部 14:30～16:25 シンポジウム「動物園・水族館の将来」

基調講演 1 動物園のいま、むかし

動物園が無くなったとしても、生きる上では全く困らないでしょう。それは、小説や詩や歌が身体の栄養にならないのと同じです。でも、栄養分だけで生命維持できるのは生物としてのヒトであって人間ではありません。動物園がこの世に誕生したのも、ヒトが人間になってゆく段階で必要とされたからでしょう。その必要性は時代で異なり、時として権力誇示や貴族趣味やお金儲けを背景にしていたが、動物への知的好奇心が根底にあったのは確かです。知的好奇心は人間の尊い精神性であり、それが文化理想の発展基盤となっています。動物園も、その文化的基盤の上に成り立っていると思います。



村田 浩一
横浜市立
よこはま動物園 園長

基調講演 2 沖縄美ら海水族館の獣医師の役割

沖縄美ら海水族館では、イルカなどの鯨類、海牛類のマナティー、板鰐類のジンベイザメなど大型水生動物の健康管理に取り組んでいる。これらの水棲動物は、獣医学で学ぶ伴侶動物や産業動物とは大きく異なり、検査や治療に多大な工夫が必要となる。大学や他の研究機関の協力を得て、画像診断器機による確定診断、外科手術の実施、人工尾びれの作成、水中エコー検査など、水族館で初めてとなる試みをおこってきた。特に「人工尾びれプロジェクト」は、障害を負った展示動物の理学療法(リハビリテーション)という新たな概念を導入することに成功した。タブーを設けることなく、積極的に健康管理に取り組んでゆく。



植田 啓一
沖縄美ら海水族館
獣医師

パネルディスカッション コーディネーター：伊谷 原一(京都大学野生動物研究センター教授)

パネリスト：鈴木 浩(横浜市立野毛山動物園 園長) / 原 久美子(横浜市立金沢動物園 園長)

インドゾウ・
チンパンジー舎前
スペシャルガイド
各 13:00 / 14:00

みんなのはらっぱ大テント
13:00～14:30 ポスター発表

動物の研究者や各地動物園スタッフが、ポスターの前で最新の研究や飼育の取り組みについて直接お話しします。ここだけのお話が聞けるかも。

アマゾンセンター
ジオアートワークス
WILDLIFE ART展



動物園大学 がめざすもの

1. 動物のよりよい暮らしのサポート (飼育技術の向上)
2. 動物や、動物をとりまく環境の理解 (飼育下から野生まで)
3. 動物の健康・繁殖・福祉の充実

研究
教育
保全

京都大学および連携する動物園が協力して、情報交換・共同研究・教育普及をおこなうプロジェクトです。

→ これまでのシンポジウム

2011年 ず～どすえ。動物園大学 1 in 京都 @京都市動物園
2012年 ず～だがや。動物園大学 2 in 名古屋 @名古屋市東山動物園
2013年 ず～ばってん。動物園大学 3 in 熊本 @熊本市動植物園

→ よこはま動物園ズーラシアへのアクセス



- 相鉄線「鶴ヶ峰」駅・相鉄線「三ツ境」駅・JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅下車、各駅からズーラシア行きのバスで15分。終点(よこはま動物園)で下車。
- 首都高速「葛西JCT」から約50分(52km)・東名高速「横浜町田I.C.」から約15分(6km)保土ヶ谷バイパス「下川井I.C.」から5分(2km)・第三京浜「港北I.C.」から約20分(7km)

主催：京都大学野生動物研究センター

共催：公益財団法人 横浜市緑の協会

(横浜市立よこはま動物園, 横浜市立野毛山動物園, 横浜市立金沢動物園)

京都市動物園
名古屋市東山動物園
熊本市動植物園
高知県立のいち動物公園

後援：公益社団法人 日本動物園水族館協会

横浜市環境創造局
共同利用・共同研究拠点事業

「絶滅の危機に瀕する野生動物(大型哺乳類等)の保全に関する研究拠点」
京都大学 霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院

お問い合わせ先：zoouniversity@wrc.kyoto-u.ac.jp

045-959-1000 (よこはま動物園ズーラシア)